

# 予約奨学金説明会

2023年4月

1

# 予約奨学金説明会概要

1. 奨学金の種類と給付・貸与の条件について
2. 申込方法と申込時期について
3. 奨学金の返還について
4. その他

# 1. 奨学金の種類と 給付・貸与の条件について

# 《予約奨学金対象条件》

2024年4月以降に、大学・短期大学・専修  
学校専門課程に進学する人

⇒学校パンフレットやホームページを確認し、  
自分の進学したい学校が取り扱っているか  
を見ておきましょう。

## ➤ 給付型 . . . 原則返還不要（条件等あり）

1. 住民税非課税、住民税非課税世帯に準ずる世帯の人生計維持者の資産額の合計が基準以下であること  
（給付奨学金案内 p 4 参照）

※提出されたマイナンバーにより機構が確認します。

2. ア) 全履修科目の評定平均値が5段階評価で3.5以上。  
イ) 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、  
進学しようとする大学等における学習意欲を有する。

※給付奨学金の支給対象の生徒は、授業料・入学金の減免も同時に受けることができます。ただし、別途、進学先の学校での申込みが必要です。

➤貸与型 . . . 返還必要（条件等あり）

○第一種 . . . 利子なし

（学力基準） 評定平均値が 3.5以上

（家計基準）（目安）4人世帯

総収入金額803万円以下

※住民税非課税世帯の生徒については、評定平均が足りなくても、  
進学後も優れた成績を収める見込みがあれば応募ができます。

## ○第二種 . . . 利子あり

(学力基準) ① 又は ② 又は ③

①平均水準以上の成績

②特定の分野において特に優秀な能力を有すると認められる

③学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある

(家計基準) (目安) 4人世帯

総収入金額 1250万円以下

## ○入学時特別増額貸与・・・利子あり

本奨学金を申込んだ人で、入学時期の出費に対応するために50万円まで一括で貸与を受けることができる。

入学後の第1回目振込時にしか振込まれないため、  
労金より「つなぎ融資」で貸与を受けることができます。  
(条件あり・利息あり)

## ○併用貸与

第一種と第二種両方の貸与を受ける。

(学力基準) 第一種の学力基準に準ずる

(家計基準) (目安) 4人世帯

総収入金額743万円以下



## 2. 申込方法と申込時期について

### 3. 申込時期と申込方法について (全体の流れ)

予約奨学金申込は

5月末日・6月末日・7月21日(計3回)で終了

奨学金の種類は、スカラネット入力時に選択。

※申込後5日間は入力内容の訂正が可能です。その後の訂正は一部のみ。(「申込みのてびき」p38)

また、決定した奨学金を利用しない場合、進学時に辞退できます。(一部・全部 辞退可能)

## ①必要書類の準備

- 「申込みのてびき」 p 2 5 を見て該当する物を準備

## ②スカラネット申込入力

- 「申込みのてびき」 p 4 及び p 7 ~ p 2 4 を事前に記入しておく

※入力の時間制限があるため、途中で悩んでいるとタイムアウトし、最初からやり直すこととなります。

- 「申込みのてびき」 p 3 3 を確認。

P 3 4 のQRコード又はURLよりスカラネットにアクセスし入力する。

※入力後に出てくる受付番号は「申込みのてびき」  
p 4 に控えておく。

※入力した内容は、学校で閲覧・訂正できません。慎重に入力してください。

※入力・送信した内容は、同じID・パスワードでログインし確認可能（**申込受付期間中に限る**）

※入力内容は、**画面印刷やスクリーンショット等により保管**しておく

### ③書類の提出

- ・マイナンバー提出書・・・水色の専用封筒へ入れ、各自で郵送  
(スカラネット入力後1週間以内)
- ・「申込みのてびき」p25の学校へ提出となっている物は、自身が該当する物を期日までに学校へ提出する

※受付番号の記入忘れがないように注意してください。

※学校提出書類は、クラス・番号・名前を記入(例 3148山田太郎)した  
クリファイルに入れて提出(ホッチキス止めはしない。)

※不備があった場合は返却します。すみやかに訂正し、再提出  
してください。

	スカラネット 入力締切	学校への書類 提出期限	採用候補者 決定時期
第1回	5月31日 (水)	5月31日 (水)	10月下旬
第2回	6月30日 (金)	6月30日 (金)	11月下旬
第3回	7月21日 (金)	7月21日 (金)	12月下旬

# 3. 奨学金の返還について

# 3. 奨学金の返還について

給付奨学金は返還不要ですが、第一種、第二種、入学時特別増額奨学金は貸与となりますので、(本人に)返還が義務付けられます。

第二種奨学金で高額な貸与を希望する方は返済期間が長期に渡ってきます。

最大240ヵ月（20年）もの期間となることもあります。返還のことまで慎重に考え、家族で十分に話し合ってください。

返還については、貸与奨学金案内p26～29にあります。

返還シミュレーションもできますので、ご覧ください。



# 5. その他

「貸与奨学金案内」の裏表紙に  
シミュレーションが出来るQRコードが掲  
載されています。

各種問い合わせ先も掲載されています。  
ぜひご利用ください。

預かった提出書類は、学校で取りまとめた上で、日本学生支援機構に提出しなければなりません。提出期限は定めていますが、**書類の準備ができ次第、速やかに提出**してください。

提出先は

化学準備室 → 脇坂・多良先生

物理準備室 → 東先生

です。